

ふれあい情報

2026 年 10 月 8 日 (木) 第 415 号

■発行 日本退職者連合
■発行人 宇田川浩一
■連絡先 〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

「2026 全国高齢者集会」開催

<スローガン>

“生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう”



主催者を代表してあいさつする野田実行委員長 (中央)、役員 (左側)、来賓・実行委員会団体 (右側)

9月15日(火)、文京シビックホールで「2026全国高齢者集会」を開催しました。
集会は、和太鼓連「うてな」による力強い演奏で開幕。主催者を代表して野田実行委員長があいさつを行い、続いて、連合代表あいさつ、関係政党あいさつ、実行委員会構成組織団体紹介を行いました。その後、基調報告があり、続いて、政治ジャーナリスト星浩さんの講演、高校生平和大使からの活動報告、集会アピールを読み上げた後、野田実行委員長の先唱で会場全体で団結がんばろうを行いました。

全国から1200人の会員が参加し、盛大に開催!!

全国各地からご参加の仲間の皆様に感謝いたします。
熊本の地震、千葉の豪雨など全国各地で発生している自然災害で被災された皆さまにお見舞いと一日も早い復興を祈っております。
私たちは世界中の平和を求めて活動してきました。しかし、現在でもウクライナ・ガザ・イ

野田那智子 実行委員長

和太鼓連「うてな」の演奏後、式典は、増田副会長の司会でスタート。次第に沿って進められました。



増田副会長

ランなどにおける戦いの終息は見えず、今やホルムズ海峡は、マーケットと化し、私たちの物価にもしわ寄せしています。
2月の総選挙では「新しい何か」という印象と期待を持たせて、自民党が圧勝しました。「新しい何か」は女性首相だったからでしょうか。「新しい」どころか、安保三文書の改定、憲法改正など国論を二分するテーマを独自に決め、追い風の勢いで強行しようとしています。5か月余りの特別国会で見えたのは、説明責任から逃げ、数の力で押し切ろうとする首相と、それを止めることもできない自民党の責任政



和太鼓連うてなは、東京・神奈川を中心に活動。今回は「かざぐるま」「炎(かざろい)」演奏していただきました

党としての劣化です。国会の機能不全は、民主主義の危機です。国会は与党のものでも野党のものでもありません。主権者である国民、私たちのものです。静観しているわけにはいきません。

政府は食料品の消費税率を来春1%に引き下げることを閣議決定しました。消費税導入は教育や子育て支援、年金医療、介護など将来リスクを減らすための社会的投資です。政府は未来への責任放棄です。

私たちは、一人一人を大切にして、平和、民主主義、ジェンダー平等を求め、活動していくことを申し上げ、主催者を代表しての挨拶とします。

「笑って過ごせる社会を私たちの声で築きましょう。」

来賓あいさつ

連合

神保政史 事務局長



連合は熊本県八代市のボランティアに先週から連合ボランティアとして1班20人で参加している。被災地に寄り添い、復興・復興の取り組みを進める。

昨年10月に19期運動方針を確認、働くことを軸とする安心社会の実現に向け取り組みを進めてきた。少子高齢化の進展、社会保障制度の持続性、物価上昇等が生活に大きく影響を与えているが、取り組みを一層強化していく。

26年春季生活闘争は全体で5・01%の賃金水準の引き上げができ、やつと賃上げが定着してきた。まだ生活に余裕が出ていない状況だが次の春闘に繋げる。

来年の統一地方選について方針をまとめた。組織内議員・ヤフオラ議員全員の当選、その結果を受けて参議院選挙に繋げられる様に頑張る。

中道改革連合

小川淳也 代表



先の衆議院選挙では、色々な形で支援を頂いたが、このような結果となり苦難のスタートを切ることとなった。労働者福祉を訴え政治の世界で頑張ってきた私たちと、公明党が政治的に掲げてきた大衆福祉のベールは平和がなければ成り立たない。今回、三党が円満な形での合流は果たせなかったが、上と下の分断の拡大を日本や世界が容認していけば政治が乱れ、秩序の崩壊や暴力へと進む状況を放置してはいけない。ここは、労働者福祉と大衆福祉、平和のDNAで、認めあい・多様性のある政治勢力の再構築に全力を尽くすことが責任と考えている。

立憲民主党

森本真治 参議院議員

皆さまの日々の安心、次の時代まで平和で豊かな尊厳ある社会を築き、バトンタッチしていきたい。

衆議院選挙では、多くのご支援をいただいた。衆議院の仲間は中道改革連合に結集して選挙を戦い、結果は厳しいものとなった。野党衆議院議員が結集し、今の政権与党に対峙していくため大きな塊を作らなければいけないの思っていた。来年の統一地方選挙では、立憲民主党は全国1100余名の自治体議員のうち750名が地方選挙を戦う。現職議員全員の当選と少しでも多くの新人の当選を勝ち取るためしつかりと取り組む。

国民民主党

小林さやか 参議院議員

しつかりと働いたら賃金が上がり手取りが増える。働く者が元気になることが社会そのものを成長させ、年金、医療、介護、高齢者の安心を守っていく。介護の人手不足問題は、懸命に現場を支えている介護事業者の処遇を改善し、安心して働き続けられる環境をつくることは高齢者の安心や介護のために仕事をやめざるを得ない世代を生み出さな

社会民主党

ラサール石井 幹事長

沖縄県知事選の結果は、地域課題の政策論議というより、変えてくれそう、刺激的なキャッチフレーズが相当程度の支持を集める様子であった。暮らして平和が如何に繋がっているか、社民党も護憲・平和を徹底するとともに皆様の暮らしに直結し心に刺さる言葉

のブラッシュアップに取り組む。地域の運動と自治体や議会の活動を連携させ、一人一人が自らの人生を精一杯生きることができる社会を目指す。

公明党 宮崎勝 労働局長

今後、公明党は、中道改革連合の公明党系議員を受け入れ、衆・参そろった政党として、地方議員ともつながるネットワーク政党として体制を整え、再出発する。中道政治を実現できなかったが、中道の歩みを真ん中に据え、価値観と基本政策を共有できる方々と幅広く連携し、中道のまとまりを伝え合う社会を築く。

今後も、年金・医療・介護の安心を確かなものとするため制度改革に取り組んでいく。



忙しい中、ご出席いただいた関係政党の皆さま

講演

どうなる世界と日本

政治ジャーナリスト 星 浩 さん

(元朝日新聞特別編集委員)



講演では、『直近のニュースを話題にしたい』とおっしゃり、世界の非常に速い動きと日本の動きや対応をわかりやすく、幅広く説明してくださいました。

■波乱の国際情勢・デジタル・AIの進化

- ▶軍事技術の変化
- ▶イラン戦争の行方
- ▶米中関係は中国優位で推移
- ▶台湾有事発言で日中関係は冷却

■高市政権の動向と政策課題

- ▶高支持の背景（初の女性首相、既成政治への不満、財政、外交ポピュリズム）
- ▶経済政策
- ▶消費税減税・防衛増税は、憲法改正は
- ▶野党はどう向き合うか

■メディアの課題

「基調報告を行いました。」
長より、日本退職者連合運動の



基調報告

- 労働者福祉中央協議会
- 全国労働金庫協会
- こくみん共済coop
- 運輸労連（オブ参加）

実行委員会
構成組織団体紹介集会アピール・
団結がんばろう

講演、報告の後、集会アピールを読み上げる



集会アピールを読み上げる田村副会長

上げ、最後に野田実行委員長の先唱で、『団結がんばろう』を会場全体で力強く行い、集会は終了しました。
*集会では「連合令和8年熊本地震緊急カンパを実施し、3万4182円を集約しました。ありがとうございました。」



報告

高校生平和大使の取り組み

「被爆者からお話が聞ける最後の世代として
平和について学び続け、活動を邁進したい」

高校生平和大使は、現在19の都道府県枠と全国枠から、地域の実行委員会等によって選考が行われ、選出されています。

活動は、①国連(欧州本部)などを訪問し、核兵器廃絶や平和の願いを訴える
②訪問の活動成果を国内に広める活動に参加する ③核兵器廃絶に向けての国際協力・国際連帯の基盤を作る活動を行うなどです。街頭で署名活動やカンパ活動を行っていますのでご協力をお願いします。



今年は、神奈川県第28代・29代平和大使2名と神奈川県署名メンバー4名の現役高校生に参加いただきました。第28代平和大使の青柳さんには国連欧州本部で昨年開催された国連軍縮会議などについて、第29代平和大使の元井さんには今年の「自律型致死兵器システムの政府間専門家会合」などについて報告をしてもらいました。また、4名の署名メンバーからは、署名活動について報告をもらいました。

*当日会場で、署名230筆・カンパ350,868円のご協力をいただきました。ありがとうございました。



地方代表者会議を開催し、

26 年度運動方針の具体化の意思疎通を図る

9 月 16 日都内で、「26 年度地方代表者会議」を WEB 併用で開催しました。

野田会長あいさつの後、新役員紹介、宇田川事務局長より「26 年度運動方針の具体化について」、岩崎副事務局長より「政策・制度要求に向けた取り組み」等を提起、意見交換を行い、意思疎通を図りました。会議後半では連合神保事務局長を講師に学習会を行い、意見交換を行いました。

野田会長あいさつ

昨日の全国高齢者集会、ご協力に感謝申し上げます。

ICC 所長の赤根智子さんが今年 8 月に米トランプ政権



会議は都内ルポール麹町において、WEB を併用し 47 都道府県の代表者と開催しました

から制裁措置

を受けた件に

ついて、高市

総理が「残念」

の一言だったことに超党派議

連から意見が出て、少し政府

も動くと思います。いつまで

アメリカの方を向いているの

かという思いがあり、退連と

して具体的運動を行うことを

申し上げたいと思います。

運動方針の具体化

について提起

◇ポイント

◎政策制度関係

関係省庁・政党・地方自治体

に対して要請行動を実施する。

地方における行動は、各地域

の要求を加えて、自治体や政

党に要請行動を展開し本年 12

月目途に終了し来年 1 月 31 日

までに報告する。

また、取り組みにあたって、

は連合と連携し行動する。

◎組織強化・組織拡大

第 2 次組織拡大プラン・第

3 期アクションプランに基づ



意見交換・発言要旨

鹿児島県退連

み。

◎政治の流れを変える取り組み

◎環境・防災の取り組み

◎ジェンダー平等の取り組み

第 2 次行動計画進捗状況確

認アンケートの実施や選択的

夫婦別姓制度への取り組み、

学習会を開催する、等。

◎現職代表芳野会長に退連

の行事に積極的に顔を出して

頂くよう要請する。◎中道改

革連合が分裂し新たな出発を

する。中道改革連合を結成し

た主旨を踏まえて進めてほし

い。暴走する高市政権に対し

野党の連携は極めて重要。◎

沖縄県知事選で国民民主党は、

連合沖縄推薦候補以外を推薦

した。高市政権に対する野党

の連携強化のために、退連は

意見してほしい。

北海道退連

①政策「特定地域の介護」に

ついて今後サービスの不均衡

やサービスの低下を危惧する。

②ケアプランの有料化の問題

について取り組みが必要。③

高校生平和大使の取り組みに

ついて、次世代に繋げていく

ため、連合など全体の運動に

していききたい。

岐阜県退連

①組織拡大は現役組織に指

導が下りていないのが実態。

定年延長や再雇用制度で退職

者組織移行は組織により違い

があるので、現役産別への対

応をお願いする。②中道改革

連合への対応を早く決めてほ

しい。来年の統一地方選挙や

参議院選挙等があり、早く浸

透を図りたい。

学習会「連合第 19 期運動方針(2025.10~2027.9) 当面の課題」



神保事務局長

講師 連合事務局長 神保 政史 さん

神保事務局長より、連合第 19 期の運動方針と直面している課題、課題解決に向けての取り組みについて説明いただきました。

重点分野 1:「全ての働く仲間をまもりつなぐために、組織拡大・強化を最重点取り組みと位置づけ、集团的労使関係の

追求と社会に広がりのある運動の推進」組織率低下に歯止めが効かない。就労形態の変化、人口減少、若年層の減少傾向も含め厳しい状況。2026 年 10 月~2030 年 9 月までに概ね 77 万人の組織拡大を目標としている。

重点分野 2:「安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進」。社会保障・教育と税制の一体改革については、連合内、関係省庁、政治の世界等へ我々の考えを主張し実現に向けた動きをしている。

その他、重点分野の 3: ジェンダー平等、「真の多様性」が根付く職場・社会の実現。

推進分野 1: 社会連帯を通じた平和、人権社会貢献への取り組みと、次世代への継承。

推進分野 2: 健全な議会制民主主義と政策実現に向けた政治活動の推進。等